

クレジットカードに関するアンケート調査

～ 平成 18 年夏のボーナス・消費アンケート付随調査 ～

（ 調 査 要 領 ）

調査目的	クレジットカードの保有状況や利用状況を把握するため、夏のボーナスアンケートと同時に実施
調査対象	鳥取県内勤労世態の家計を主に取りしきる方 1,000 名
調査期間	平成 18 年 5 月 10 日～5 月 24 日
調査方法	鳥取銀行県内各支店を通じ、窓口、事業所等で所定の調査用紙を配布し、直接無記名にて回収するアンケート調査方式

（ 回 答 状 況 ）

回答者 …… 559 人 (回収率 55.9%)

年齢層	回答者数	構成比
20 歳代	122	21.8%
30 歳代	163	29.2%
40 歳代	168	30.1%
50 歳以上	106	19.0%
合計	559	100.0%

～ 概 要 ～

鳥取県内の勤労者で、クレジットカードを保有しているのは 9 割を超え、1 人当たりの平均保有枚数は 2.94 枚となった。クレジットカード保有者のうち代金等の決済にクレジットカードを頻繁に利用しているのは、3 割程度で、半数以上は時々利用する程度となっている。

クレジットカードで代金を決済した経験が最も多かったのは、「ガソリン代支払」であったが、20 歳代では「インターネットでの代金支払」を行ったことがある方も多くなっている。またクレジットカードを頻繁に利用する方ほど、生活に密着し支払い頻度の高い「ガソリン代」や「衣料品」、「日用品・家庭用品」、「電話・電気・新聞料金」の支払や購入を行っているようである。

クレジットカードの利便性については、「手持ちが無くても支払ができる」ことが最大のメリットとして考えられているようである。また「ポイントやマイルが貯まること」もメリットとして多くの方に考えられており、カード支払できるものは、極力カードで支払おうとする方も多いのではないかと考えられる。

最後にクレジットカードで支払うことが出来たら良いと思うサービス・商品については、「医療費」という回答が最も多かった。カードで治療費や入院費を支払うことが出来る医療機関はまだ少ないが、カードを保有している半数以上の方が、医療費をカード支払ができれば良いと回答した。

1. クレジットカードの保有枚数

《 クレジットカードの保有枚数は平均 2.94 枚 》

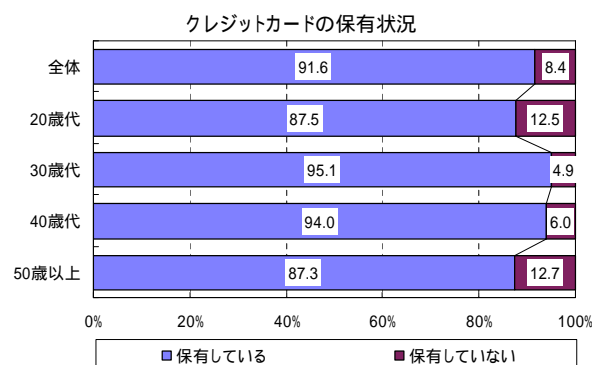
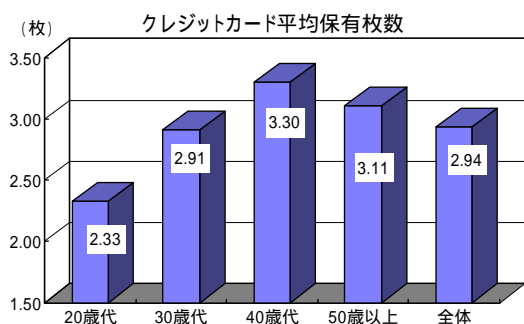
鳥取県内の勤労者(所謂サラリーマン)のJCBやVISA、イオンなどのクレジットカードの平均保有枚数は、全体の平均で1人当たり2.94枚となった。

年代別では、「40歳代」が最もクレジットカードの平均保有枚数が多い年代となっており、一人当たり3.30枚の保有となっている、次いで「50歳代以上」が3.11枚、「30歳代」が2.91枚、「20歳代」が最も少なく2.33枚となっている。

社)日本クレジット産業協会の「日本の消費者信用統計」によると、平成17年3月の全国のクレジットカードの発行枚数は2億7,338万枚となっている。10年前の発行枚数と比べ4,587万枚の増加と、クレジットカードの保有者または1人当たりの保有枚数が増えていることが考えられるが、全国の20歳～64歳の人口7,814万人(人口推計年報平成17年3月)で割ると1人当たり平均約3.49枚の保有枚数となる。したがって鳥取県内の勤労者の平均保有枚数2.94枚は、全国の平均保有枚数を0.55枚ほど下回るようである。

またクレジットカードを保有割合としては、回答者全体の91.6%はクレジットカードを保有しており、保有していないのは8.4%となった。10人に9人以上はクレジットカードを保有していることになる。

年代別に保有割合をみると30歳代が最も保有割合が高く、95.1%となっている。次に40歳代で94.0%、20歳代が87.5%、50歳代以上が87.3%となっている。



クレジット保有枚数

単位: %

	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上
1枚	12.4	17.5	13.6	8.4	10.8
2枚	26.9	32.5	29.0	24.7	20.6
3枚	23.1	20.0	26.5	24.1	19.6
4枚	8.7	7.5	8.0	10.2	8.8
5枚以上	20.5	10.0	17.9	26.5	27.5
持っていない	8.4	12.5	4.9	6.0	12.7
平均保有枚数	2.94	2.33	2.91	3.30	3.11

2. クレジットカードの利用状況

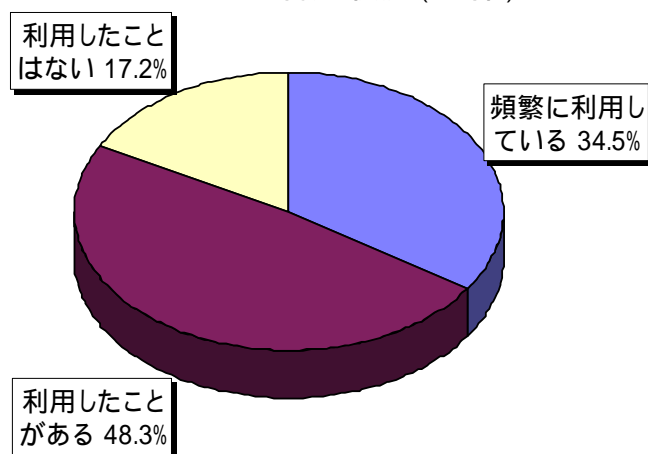
《 クレジットカード保有者の約3割が頻繁に利用 》

クレジットカードの利用状況については、「頻繁に利用している」が34.5%、「(頻繁ではないが)利用したことがある」が48.3%、「利用したことがない」が17.2%となっている。

クレジットカードは回答者の9割以上が保有していたが、実際頻繁に利用しているのはそのうち3割程度で、約半数は時々利用する程度となっている。

年代別のクレジットカードの利用状況については、「頻繁に利用している」が最も多い年代は20歳代で39.3%、次が30歳代で37.0%、40歳代が32.9%、50歳代以上が27.5%と若い年代ほどクレジットカードを頻繁に利用している方が多いようである。

クレジットカードの利用状況(全体)



クレジットカードの利用状況

単位: %

	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上
頻繁に利用している	34.5	39.3	37.0	32.9	27.5
利用したことがある	48.3	39.3	51.9	52.8	46.0
利用したことはない	17.2	21.4	11.1	14.3	26.5

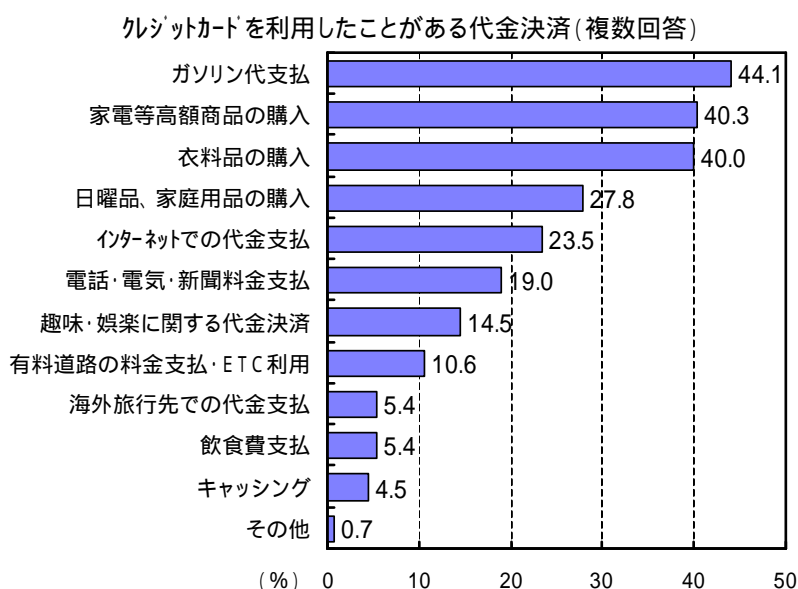
3. クレジットカードを利用したことがある代金決済

《 ガソリン代支払が最も多い回答 》

クレジットカードを利用した経験がある代金の決済については(複数回答)、「ガソリン代支払」が最も多く全体の44.1%となっている。次に「家電等高額商品の購入」が40.3%、「衣料品の購入」が40.0%、「日用品・家庭用品の購入」が27.8%、「インターネットでの代金支払」が23.5%と続いた。

年代別では、全体と同じように「ガソリン代支払」、「家電等高額商品の購入」、「衣料品の購入」がほとんどの年代で上位3位となっているが、唯一20歳代では「インターネットでの代金支払」が3番目に多い回答となっており、20歳代は他の年代と比べてオンラインショッピングを行う頻度が高く、その決済手段としてクレジットカードが利用されているようである。

利用状況別にみると、「ガソリン代支払」や「衣料品の購入」、「日用品・家庭用品の購入」、「電話・電気・新聞料金支払」などで「頻繁に利用している」方の割合が大きく上回っており、「頻繁に利用している」方ほど、生活に密着し支払頻度の高いものでの利用経験が多くなっているようである。



クレジットカードを利用したことがある代金決済(複数回答)

単位: %

	全体	年代別				利用状況別	
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代以上	頻繁に利用している	利用したことがある
ガソリン代支払	44.1	36.3	46.5	49.3	39.7	56.2	35.5
家電等高額商品の購入	40.3	28.6	40.8	45.6	43.8	45.4	36.7
衣料品の購入	40.0	45.1	41.5	32.4	45.2	53.5	31.1
日用品・家庭用品の購入	27.8	23.1	31.0	25.7	31.5	43.2	17.1
インターネットでの代金支払	23.5	30.8	22.5	22.8	17.8	27.6	20.7
電話・電気・新聞料金支払	19.0	13.2	20.4	25.0	12.3	25.9	13.9
趣味・娯楽に関する代金決済	14.5	22.0	13.4	9.6	16.4	21.6	8.8
有料道路の料金支払・ETC利用	10.6	8.8	12.0	11.0	9.6	15.1	6.8
飲食費支払	5.4	6.6	6.3	2.2	8.2	8.6	3.2
海外旅行先での代金支払	5.4	6.6	6.3	3.7	5.5	7.6	4.0
キャッシング	4.5	4.4	4.2	5.1	4.1	4.3	4.8
その他	0.7	3.3	-	-	-	1.6	-

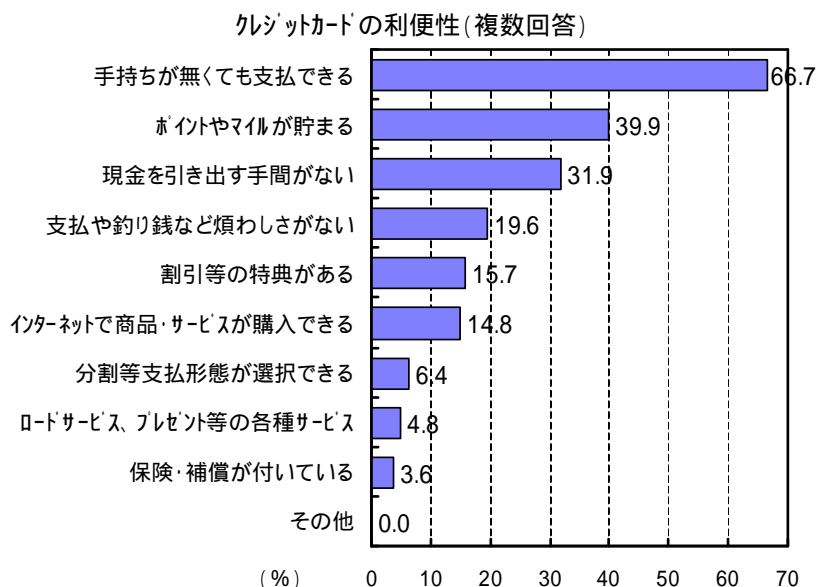
4. クレジットカードの利便性

《 手持ちが無くても支払いできることが最大のメリット 》

クレジットカードの利便性について尋ねたところ(複数回答)、「手持ちが無くても支払いできる」が最も多く66.7%となった。次に「ポイントやマイルが貯まる」が39.9%、「現金を引き出す手間がない」が31.9%、「支払や釣り銭など煩わしさが無い」が19.6%、「割引等の特典がある」が15.7%と続いた。

「手持ちが無くても支払いできる」が、他の項目を大きく引き離して全体の6割以上の回答となっており、いざという時に支払いができることや現金を多めに持つ必要がないことが最大のメリットとして捉えられているようである。

2番目に多い回答であった「ポイントやマイルが貯まる」も全体の約4割がクレジットカードの利便性として回答している。利用状況別にみると「頻繁に利用している」方ほど、「ポイントやマイルが貯まる」というメリットを感じており、カードの利用によってポイントやマイルが貯まることに期待し、カードで支払できるものは、極力カードで支払いしようとしている方も多いのではないかと考えられる。



クレジットカードの利便性(複数回答)

単位: %

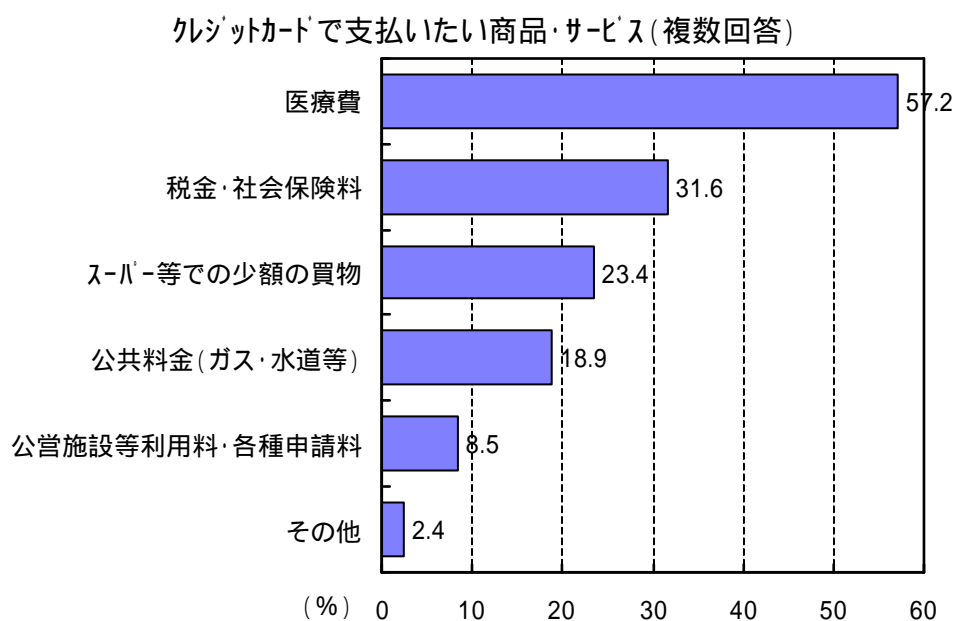
	全体	年代別				利用状況別	
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代以上	頻繁に利用している	利用したことがある
手持ちが無くても支払できる	66.7	63.3	63.8	69.9	70.7	71.1	64.2
ポイントやマイルが貯まる	39.9	36.7	45.4	44.4	25.3	50.8	31.3
現金を引き出す手間がない	31.9	31.1	36.2	22.6	41.3	41.7	25.2
支払や釣り銭など煩わしさが無い	19.6	21.1	20.6	16.5	21.3	25.1	15.4
割引等の特典がある	15.7	20.0	13.5	15.0	16.0	18.7	13.8
インターネットで商品・サービスが購入できる	14.8	21.1	14.2	14.3	9.3	17.1	13.0
分割等支払形態が選択できる	6.4	10.0	5.0	4.5	8.0	7.5	5.3
ロードサービス、プレゼント等の各種サービス	4.8	3.3	3.5	4.5	9.3	6.4	3.7
保険・補償が付いている	3.6	4.4	2.8	3.8	4.0	4.8	2.8
その他	-	-	-	-	-	-	-

5. クレジットカードで支払うことが出来たら良いと思うサービス・商品

《 医療費が最も多い回答 》

クレジットカードで支払うことが出来たら良いと思うサービス・商品を探ねたところ(複数回答)、「医療費」が最も多く、57.2%となった。次に「税金・社会保険料」が31.6%、「スーパー等での少額の買物」が23.4%、「公共料金(ガス・水道料)」が18.9%、「公営施設利用料・各種申請料」が8.5%と続いている。

最も多い回答となった「医療費」については、カード支払が可能な医療機関が最近県内でも徐々に増えてきているようだが、カードで支払ができない医療機関が大半であり、また医療費については、金額が事前に把握し辛いこともあり、半数以上がクレジットカードで支払うことが出来たら良いと回答している。



クレジットカードで支払いたい商品・サービス(複数回答)

単位: %

	全体	年代別				利用状況別	
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代以上	頻繁に利用している	利用したことがある
医療費	57.2	51.2	56.3	60.5	60.3	63.0	52.9
税金・社会保険料	31.6	32.5	35.3	26.3	33.3	38.3	26.7
スーパー等での少額の買物	23.4	21.3	23.5	22.8	27.0	24.1	22.8
公共料金(ガス・水道等)	18.9	22.5	10.9	24.6	19.0	19.1	19.4
公営施設利用料・各種申請料	8.5	8.8	10.1	7.0	7.9	11.1	5.8
その他	2.4	3.8	0.8	2.6	3.2	0.6	3.9

以上